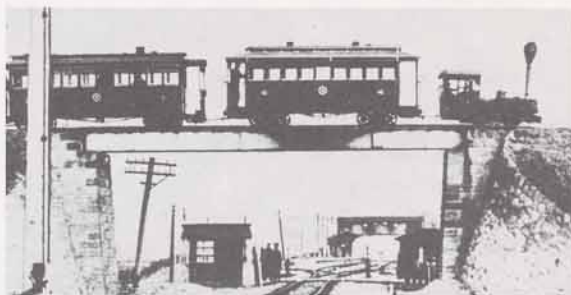


電車は1971年（昭和46年）まで、じつに46年間も走り続けました。伊達町は電車の分岐点にあたりたいへんにぎわいました。しかし、自動車がさかんに使われるようになったため、電車ははい止され、バスが使われるようになりました。最近では、ほとんどの家で車をもつようになってきています。



軽便鉄道



分岐点付近のようす

○ 身のまわりにみられるどうぐ
身のまわりにみられるもののむかしと今

むかし	せとものゆたんぽ 	はかり(てんびん) 	五だまそろばん 	ランプ 	もうひつ毛筆 
今	電気あんか 	はかり 	電子計算機 	蛍光灯 	えんぴつ 
むかし	げた 	こけい固形石けん 	せんたくいた 	たらい 	
今	サンダル 	ちゅうせいせんざい中性洗剤 	せんたくき 		

○ ねんりょう

昔は、くわの木・しば木・炭・まきなどが、おもでした。今のようにガスや石油を使うようになったのは40年ほど前からです。